

■大津町復旧・復興計画進捗状況一覧(平成29年3月31日現在)

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	H28実績	H28歳出額(千円)	H28課題	H28取組みの評価	コメント	担当課
① 住民生活・くらしの再建	1 住宅の確保	1	応急仮設住宅の建設	7カ所の応急仮設住宅を建設した。	0	応急仮設住宅の使用期限が2年間であるため、今後、期限の延長や災害公営住宅の建設や町営住宅への移転も含め検討していく必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	建設に関しては目標のとおり達成できた。	都市計画課
		2	公費解体撤去等の支援	申請件数1,092棟、解体件数851棟(公費解体件数484棟+先行解体負担件数367棟) 被災廃棄物処理量 45,600t	2,396,518	仮置場の被災廃棄物処理が遅れ気味であった。	A目標以上 [100%以上]	当初の予想を上回るペースで解体を進めており、このまま行けば計画どおりに事業完了を見込める。	環境保全課
		3	住宅の応急修理	申請件数810件、発注件数640件、完了件数480件です。	273,988	業者不足や人手不足により完了に至っていない被災者が多くいるので業者の情報提供や応急修理への協力の働きかけを行ってきたい。	C目標を下回る [80%以下]	平成29年度中の完了を目指し、課題を減らすことで目標に近づけていきたい。	都市計画課
		4	被災者生活再建支援・相談	(申請件数) ・基礎支援金 479件 ・加算支援金 170件	0	・申請期限が迫る中、再建方法が未定の世帯への対応	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	住宅再建が完了している世帯に対し、随時受付・進達し、支援法人から早期支給が行われることにより、被災者の経済的負担軽減ができています。	福祉課
		5	一部損壊世帯への支援	H29.3月末時点 (支給件数) 299件 (支給額)15,311,000円	15,311	・熊本県義援金の一部損壊世帯に対する配分基準額の引き下げが行われた場合の対応検討。 ・修理が間に合わない世帯に対応するための申請期限延長の検討。	A目標以上 [100%以上]	公的支援がないとされていた一部損壊世帯へ修理費用に応じて見舞金を支給することにより、被災者の経済的負担軽減ができています。	福祉課
		6	災害公営住宅の建設	応急仮設住宅やみなし仮設住宅へのアンケート調査が行われている。	0	民間住宅の借り上げも含めて建設をどうするか検討していく必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	建設まで時間がないため、今後方針が決まれば、迅速な対応が求められていく。	都市計画課
		7	耐震診断事業、耐震改修事業	耐震断の申込みが旧耐震30件、新耐震42件となっている。(H29.4.26現在)	0	耐震設計、耐震改修の要綱を策定し、今後の申込みに対応していくが、対応する建築士が不足することが予想される。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	耐震断が済んだ住民の方より、設計、改修に移行して	都市計画課
		8	地域防災がけ崩れ対策事業	外牧地区の調査設計発注	0	特になし。	C目標を下回る [80%以下]	国、県への補助申請完了。	建設課
		9	宅地耐震化推進事業(拡充事業含む) 【検討中】	拡充事業について、国へ概算要求を行うための調査を実施した。 その他、国県主体で行われた被災宅地危険度判定のデータを活用した。	0	拡充事業については、今回の熊本地震より新設された制度であり、個別案件ごとの判断が求められる。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	熊本県内では初めての事業であり、示されていない制度の詳細を確認していく必要がある。	都市計画課
		10	被災宅地の復旧支援	県主催の「被災宅地復旧支援事業に関する説明会」に出席し、制度に関する情報共有を行った。また、大津町宅地復旧補助金交付要綱の制定を行った。	0	今回の熊本地震より新設された制度であり、国庫補助制度との選別について個別案件ごとの判断が求められる。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	熊本県内では初めての事業であり、示されていない制度の詳細を確認していく必要がある。	都市計画課
		11	防災意識の啓発	2月の防災訓練時に啓発する。	0	町民一人一人の意識を高める必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	予定どおり実施。	総務課
		12	大津町浄化センター災害復旧工事	大津町浄化センターの最終沈澱池設備(N。2汚泥掻き機)、最初沈澱池(2号掻き機)の復旧が完了。	10,595		B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	計画通り復旧した。	下水道課
2 地域コミュニティの維持・再生		13-1	地域コミュニティの復旧	・補助要綱策定(12月) ・区長説明会の実施(12/22) ・被害まとめ	12,492		B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	ほぼ予定通りであるが、修理業者の都合により、修理が遅れている地区がある。	生涯学習課
		13-2	地域コミュニティの復旧	・関係課協議	0	・熊本復興基金補助対象物件について、範囲が広すぎるため、要綱制定が難しい。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]		生涯学習課
		14	仮設住宅でのコミュニティづくり	支援回数(延べ) 【社協】訪問1,146件・電話254件 文書206件・その他160件 【菊愛会】相談 50件 【NPOクラブおおつ】健康サークル 51回 ネットワーク事業 34回 健康相談(巡回)14回 イベント等 26回	20,183	・孤独死防止に向けた対応 ・接触が難しい世帯への対応 ・経済面等で住宅再建の目処が立てられない被災者への支援	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	支え合いセンター開設から半年経過し、ようやく入居者との信頼関係が構築できてきた。今後、住宅再建やコミュニティ形成のための取組みが重点的に行う必要がある。	福祉課
		15	災害時要援護者の支援体制づくり	熊本地震による課題検証作業	0	・要援護者リストへの不同意者への対応 ・災害時における避難体制の検討	C目標を下回る [80%以下]	要援護者リストの更新作業が進まず、当初発送計画より遅延している。	福祉課
		16	地域活動に関する支援	受付60件	6,000	未実施地区への推進が課題。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	ある程度の件数を実施できた。	総務課
17	税の減免措置	個人町民税 49,755千円/1,672人 固定資産税 147,363千円/12,66件 減免額合計 197,118千円	0	未申請者の方に対する減免	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	減免申請と還付請求の2回の手続きとしたため、住民の負担軽減の観点から簡素化した制度設計をした方が良かったと反省している。	税務課		

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	H28実績	H28歳出額(千円)	H28課題	H28取組みの評価	コメント	担当課		
		18	国民健康保険税の減免措置	687世帯、減免額 62,930千円	0	未申請者の方に対する減免	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	減免申請と還付請求の2回の手続きとしたため、住民の負担軽減の観点から簡素化した制度設計をした方が良かったと反省している。	税務課		
		19	後期高齢者医療保険料の減免措置	平成29年3月末までに減免対象となった者への減免は全て完了。【H28年度実績】 減免対象者:964人 減免額:22,760,800円	0	特になし。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	罹災証明の判定結果の受領時に関係課への案内を行っているため、円滑に減免手続きができています。	健康保険課		
		20	一部負担金の免除(国保・後期)	平成29年3月末における実績は以下のとおり。 【国保】 免除対象者:1,234人 【後期】 免除対象者:894人	107,051	特になし。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	罹災証明の判定結果の受領時に関係課への案内を行っているため、円滑に免除申請ができています。	健康保険課		
		21	介護保険料の減免措置	4月末実績 1,659人 56,158千円	0	特になし。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	罹災証明の交付時の窓口業務連携により円滑に実施が出来る。	介護保険課		
		22	介護保険サービス利用料の免除	【3月末還付実績】356人 6,121千円 その他、過誤調整で免除を実施	0	特になし。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	介護サービス事業所等の協力もあり、円滑に実施ができています。	介護保険課		
		23	保育料等の減免措置	平成29年3月納期限分まで認可保育の保育料と公立幼稚園保育料を減免。減免額4,306千円(保育園46人分、幼稚園9人分、家庭的保育1人分)	0	特になし。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	広報等の周知及び在園中の全世帯保護者に対し周知ができたことにより円滑に実施ができた。	子育て支援課		
		②	社会 生活 基盤 の 復 旧 ・ 経 済 の 再 生	1	24	道路の災害復旧工事 (補助)41箇所中33箇所の復旧工事完了 (単独)応急復旧を実施	178,000	町内の業者が民間を含めた仕事量が多く、労務、機械、材料の確保が難しく、進捗が懸念される。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	国庫補助の災害査定は完了した。	建設課
25	都市公園の災害復旧工事			大津町弓道場の復旧工事の完了。	8,419	工事施工業者の人手不足、資材の調達遅れなどにより復旧に遅延が生じている。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	業者の人手や資材の不足などにより多少の遅延はあるものの、概ね目標通りに進んでいる。	都市計画課		
25-2	都市公園の災害復旧工事			・URとの協定締結・平成29年度繰越	441,288	・鉄骨確認等による復旧箇所の増加については、その都度打合せにより、工程の延長が予想される。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	・5月連休明けより工事着手予定。	生涯学習課		
26	国道57号の崩落に伴い迂回路となっている町道の補修工事				0		B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	一部区間については、舗装の補修等を実施済み	建設課		
27	豊肥線不通区間の公共交通の確保			JR九州により通学者メインの代替バスを運行。また、三吉原北出口線の夜間通行止め等もあり、肥後大津駅北側発着を南側ロータリー発着→国道57号経由に変更。	0	肥後大津→瀬田駅についてはJR側も代替交通実施は難しいとのこと。復旧までの瀬田駅利用者の交通対策が課題。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	JR及び県との協議は継続。	総合政策課		
28	都市計画マスタープランの作成				0			平成29年度4月からの業務着手	都市計画課		
2	保 健 ・ 医 療 ・ 福 祉 ・ 教 育 の 復 旧 ・ 充 実			29	教育施設の復旧	ほとんどの小中学校の校舎、付帯設備(体育館等)の補修・改修の工事が終了。	316,000	町内の業者が民間を含めた仕事量が多く忙しいため、契約に時間を要している。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	契約不調のため、当初の計画よりは若干遅れている	学校教育課
				30	社会体育施設の復旧	町民テニスコート、武道館いずれも工事が完了し供用開始をしている。	2,904	なし	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	早急に対応ができた。	生涯学習課
			31	被災者の心のケア	支援回数(延べ) 【社協】 訪問1,146件・電話254件 文書206件・その他160件 【菊愛会】 相談 50件 【NPOクラブおおづ】 健康サークル 51回 ネットワーク事業 34回 健康相談(巡回)14回 イベント等 26回	20,183	・接触が難しい世帯への対応	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	クラブおおづ(支え合い事業委託事業)によるINBODYを活用した健康チェック等を行い、早期に心身面の変化について把握することができた	福祉課	
			32	災害時の保健・医療の連携体制の構築	なし	0	熊本地震での課題の精査が急務であるが、現在の体制では困難を期している。	C目標を下回る [80%以下]	今後の災害に備えた保健・医療連携の体制の再構築を検討しなければならないが、また熊本地震での検証が行えていない。	福祉課	
		33	生涯学習施設等の復旧	・被害状況の整理(12月) ・各工事設計依頼	0		B(ほぼ)目標通り [100%~80%]		生涯学習課		
		34	指定文化財の復旧	・馬屋、石垣の緊急解体工事実施 ・本格復旧工事契約	1,899		B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	文化庁の指導により、本格工事に入る。	生涯学習課		
		34-2	指定文化財の復旧	・無田原遺跡標柱復旧	46		B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	文化財ドクターから選定・保存の提言を受ける。	生涯学習課		

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	H28実績	H28歳出額(千円)	H28課題	H28取組みの評価	コメント	担当課		
産業 基盤 の 再生	3	35	農地、農業用施設等の災害復旧工事	・国庫補助災害復旧事業 [工事箇所6箇所] ・国庫補助災害査定 [農地・農業施設62件] ・国庫補助率増高申請 ・町単独災害復旧事業 [工事箇所14箇所]	36,639	事業量に対し、対応事務が追いついていない。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	・国庫補助対象62件の災害査定完了 ・国庫補助率増高申請完了	農政課		
		36	農業者向け経営再建支援	被災農業者向け経営体育成支援事業[事業完了 130事業(75経営体)] 繰越:1,784,010千円	328,422	事業量に対し、対応事務が追いついていない。また、対応業者も不足している。	C 目標を下回る [80%以下]	業者不足による着工の遅れのため	農政課		
		37	林道の災害復旧工事	・国庫補助災害査定 [林道7箇所]	0	事業量に対し、対応事務が追いついていない。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	・国庫補助対象7件の災害査定完了	農政課		
		38	中小企業者等の経営再建支援	115社、3グループの認定申請。(その他町内企業が代表の認定グループが8グループ)	0	商工会や各種団体に所属していない中小企業のグループ化。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	グループの構成に苦慮している中小企業等に対して、商工会や各種団体と連携することができた。	商業観光課		
		39	企業誘致の継続	立地協定 2件 工場や機械の増設 4件 企業訪問 74社 226回	0	土地や建物の問い合わせに対応できる物件がない状況である。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	新設や増設など問い合わせが増えている。	企業誘致課		
		40	地域農産物のブランド化【地方創生の取組み】	H28年10月に関西方面にてカライモのテストマーケティングを実施。また、H29年2月末~3月にかけて台湾高雄市にて百貨店催事での特産品販売を実施。	0	平成29年度以降に事業を展開していくために、活用できる補助金の検討。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	平成28年度は海外販路拡大や商品開発などの事業を行うことができた。	総合政策課		
		41	若い世代の雇用確保	企業と学校との情報交換会 1回	0	開催時期の検討が必要	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	企業からの求人も増えており、雇用の確保につながっている	企業誘致課		
		形成 交流・ 地域 拠点 の	4	42	肥後大津駅の愛称化に伴う駅南口の活性化	平成29年3月の駅愛称化に伴い、駅南口でのセレモニー及びPRイベントを実施。 駅愛称化に伴う看板を設置。併せて商業観光課に協力をいただき、イベントを実施。	700	愛称化に伴うイベントは成功に終わったが、今後の活性化に向けた展開を模索する必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	駅南口の商店街と連携して活性化に取り組むことが重要である。	商業観光課
				42-2	肥後大津駅の愛称化に伴う駅南口の活性化	駅愛称化に伴う看板を設置。併せて商業観光課に協力をいただき、イベントを実施。	980	今後どのような事業を展開していくのか、きちんとした計画を策定する必要あり。また、商業観光課をはじめとする関係課との連携も重要。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	駅の看板作成およびイベントについては準備期間が短い間で予定どおり実施できた。	総合政策課
				43	肥後大津駅を核とした賑わいの創出	駅南口においては、駅愛称化に伴うセレモニー、イベントを開催。 上井手周辺に水車の設置を検討。	0	駅周辺観光及び地域の活性化の方法を模索し、大津町の玄関口として検討する必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	駅愛称化に伴うイベント後を今後検討する必要がある。また上井手の水車については繰越を行ったが、利活用の綿密な検討を必要とする。	商業観光課
43-2	肥後大津駅を核とした賑わいの創出			駅愛称化に伴う看板を設置。併せて商業観光課に協力をいただき、イベントを実施。	0	今後どのような事業を展開していくのか、きちんとした計画を策定する必要あり。また、商業観光課をはじめとする関係課との連携も重要。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	駅愛称化にともなうイベントについては準備期間が短い間で予定どおり実施できた。	総合政策課		
③ 命を守る・災害に強いまちづくり	つくり 災害 対応 の 基盤	44	役場庁舎の再建	コンサル業者と基本構想、基本計画策定業務委託を締結。	4,104	竣工までの事業期間が短いため、工程を含めた基本計画の策定が課題。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	12月補正後、コンサル業者と契約し、計画策定に着手。	総合政策課		
		45	防災拠点の整備	なし	0	南部地区の避難所をどこに整備するか、場所の選定が難しい。	C目標を下回る [80%以下]	場所の選定が非常に厳しい	総務課		
		46	消防団詰所の復旧工事	被害箇所の把握	0	空整協補助金の対象外となる地域があるため調整が必要。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	平成30年度までに完了する見込みが立った。	総務課		
		47	防災倉庫の整備	予算計上し繰越 中部については進行中。	0	北部地区の場所について検討する必要あり	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	中部は予定どおり進行中。	総務課		
		48	物資の備蓄	コメリとの協定を締結した。	0	備蓄計画作成中。	B(ほぼ)目標通り [100%~80%]	協定を締結することができた。備蓄計画作成中。	総務課		
		の2 対応 教訓 を活 かした 発災時	49	震災の記録と対応の検証作業	職員のアンケートまでは、実施済。	0	職員アンケートや、各種住民アンケート、住民座談会の内容をもとにデータを分析したうえで検証作業を進めていく。	C目標を下回る [80%以下]		総務課	
	50		発災初期の連携体制づくり	避難所運営マニュアル策定済み	0	震災の検証と併せて検討する必要あり。	C目標を下回る [80%以下]		総務課		
	51	災害情報の伝達	デンソーの情報システム(アプリ)の導入を調整。	0	・防災無線について、聞こえすぎるとい意見と聞こえにくいという双方の意見があるため、運用方法を検討する必要あり。 ・積極的に災害情報を見ていただく様、住民へ意識づけ	C目標を下回る [80%以下]	防災無線を今後どのように運用するかが難しい課題となっている。	総務課			
52	共助による震災対応の町づくり	熊本地震による課題検証作業	0	熊本地震での課題の精査が急務であるが、現在の体制では困難を期している。	C目標を下回る [80%以下]	今後の災害に備え「大津町災害時避難行動要支援者支援計画」を検討しなければならないが、まだ熊本地震での検証が行っていない。	福祉課				